

前橋市産業振興ビジョンに基づく景況調査結果概要 資料2

1 調査方法

- (1) 調査地域：前橋市全域
- (2) 調査対象事業者：経済センサスより無作為抽出した全業種1,000社
- (3) 調査期間：平成30年2月21日～3月2日
- (4) 調査方法：郵送配布・回収法
- (5) 回答数（回答率）：243件（24.3%）

2 調査結果概要

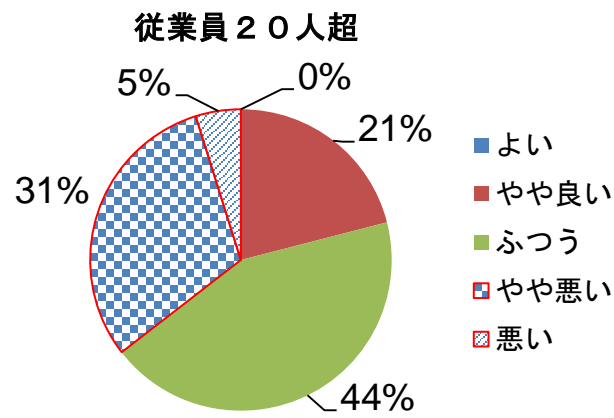
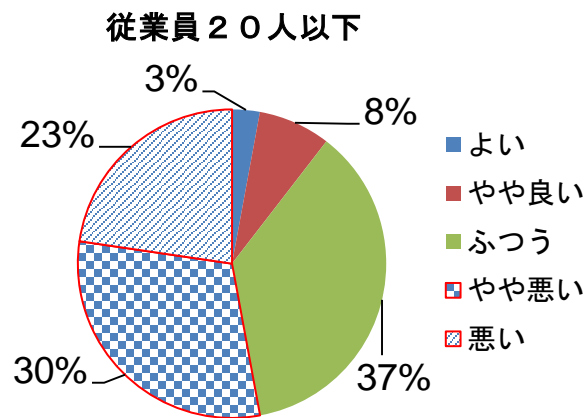
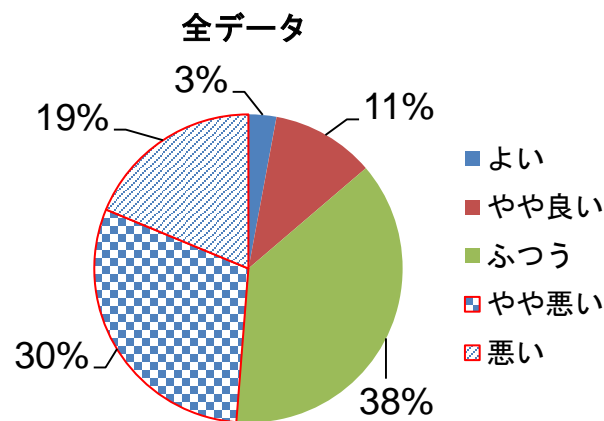
(1) 景況感について

日本経済は、日経平均株価が1月にバブル崩壊後最高値を記録し、景気回復期間は、戦後最長を更新する見通しである一方、市内事業者の景況感は、「やや悪い」・「悪い」と感じている事業者が約半数を占める状況にある。

特に、20人以下の事業者については、「よい」・「やや良い」と回答した事業者が11%であるのに対し、「悪い」・「やや悪い」と回答した事業者が53%にも上り、景気回復を実感できない状況が続いている。

質問：貴社の今の景況感を、どのように感じていますか。

(サンプル数) 従業員20人以下：172 従業員20人超：62 合計：234

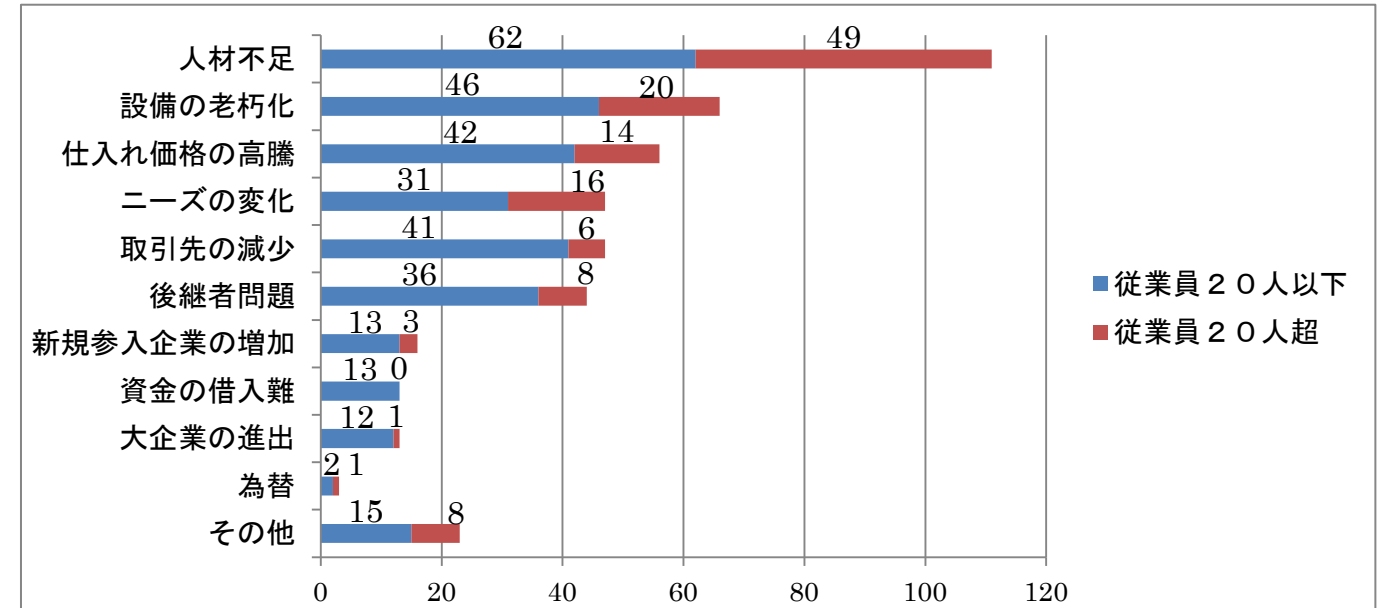


(2) 経営課題について

経営課題については、「人材不足」と回答する事業者が最も多い。特に、従業員20人超の事業者においては、「人材不足」を経営課題と感じている事業者が約8割に上る。一方、従業員20人以下の事業者においては、「人材不足」、「設備の老朽化」、「仕入れ価格の高騰」、「取引先の減少」等、多くの経営課題を抱えている。

質問：貴社の経営上の課題はどれにあたりますか。（複数回答可）

(サンプル数) 従業員20人以下：166 従業員20人超：62 合計：228



(3) 市政への要望について

市政への要望については、「人材確保の支援」と回答する事業者が最も多い。20人以下の事業者においては、「人材確保の支援」に「設備投資支援」、「融資・保証制度の充実」が続き、人材や資金繰りに関する支援等幅広い支援を必要としていることが見受けられる。一方、20人超の事業者については、「人材確保の支援」、「人材育成の支援」が多く挙げられ、人材に関する支援を必要としていることが見受けられる。

質問：今後、市に期待・要望することはありますか。（複数回答可）

(サンプル数) 従業員20人以下：123 従業員20人超：59 合計：182

